

年間冷房機床置ダクト形		50/60Hz	
セ ッ ト 形 式		ASVP1404DCA4	
形 式	—	室内機: ASVP1404	室外機: AUCVP1404DCA 室外機(耐重塩害仕様): AUCVSP1404DCA
電源	—	200V 3～ 50/60Hz	
能力条件	—	定格冷房標準	—
能力 標準(最大)	kW	12.5(14.0)	—
消費電力	kW	4.69/4.71	—
運転電流	A	15.20/15.19	—
力率	%	89/89	—
エネルギー消費効率	—	2.67/2.66	—
冷房定格運転時の顕熱比(SHF)	—	0.79	
始動電流	A	19.5/17.5	5.0/5.0
定常時の最大電流	A	3.5/3.2	17/17
運転音(パワーレベル)	dB(A)	72.0	71.0
外形寸法	高さ×幅×奥行	mm	1700×800×500
	分割可能高さ	mm	分割不可能
製品質量	kg	134	85
塗装色	—	セラミックホワイト(N8.0近似)	スタックホワイト(4.2Y7.5/1.1近似)
圧縮機	形式	—	全密閉形(RMT5126MDE21)
	電動機定格出力	kW×台	2.02×1
	始動方式	—	インバータ始動
	容量制御	%	26～126
クランクケースヒータ	W	—	20
送風装置	形式	—	両吸込多翼遠心式(ベルト駆動)
	定格風量	m ³ /min	35/35
	定格機外静圧 注2	Pa	30/80
	電動機定格出力	kW×台	0.75×1
空気熱交換器	形式	—	アルミフィン&銅チューブ
	冷媒制御	—	電子膨張弁
運転調整	操作スイッチ	—	RC-DX3A(付属)
	温度調節	—	マイコン式サーモスタット
	表示	—	液晶表示<リモコン>
	表示灯	—	緑色: 運転、赤色: 点検<リモコン>
冷媒封入量	kg	—	6.00(R410A)
冷凍機油封入量	cc	—	1000(M-MA68)
加湿器	—	組込可能	—
電熱器	—	組込可能	—
温水・蒸気ヒータ	—	組込可能	—
エアフィルタ	—	プラスチックエアフィルタ(洗浄可能)	—
空気吸込口	—	前面又は後面(ダクト接続可能)を選択	後面、左側面
空気吹出口	—	上面(ダクト接続可能)	前面
新鮮空気取入口 注6	mm	両側面を利用し可能(200×200ダクト接続)	—
ドレン排水	—	Rp1(メス)(25A)	φ20.3ヶ所
冷媒配管	液側	mm	φ9.52
	ガス側	mm	φ15.88
	長さ制限	m	片道実長50m以内(相当長75m以内)
	高さ制限	m	室外機が上の場合30m以内(室外機が下の場合15m以内)
設計圧力	MPa	高圧部 4.15、低圧部 2.21	
法定冷凍能力	トン	1.97	
IPコード	—	IPX0	IP24
除霜	—	マイコン差温式デアイサによる逆サイクル方式	
防振・防音装置	—	吸音断熱材(グラスウール)	圧縮機: 防振ゴム、吸音断熱材巻付
保護装置	—	室内ファンモータ: 過電流継電器(手動復帰)	
	—	圧縮機過熱保護、過電流保護、パワトラ過熱保護、異常高圧保護	
遠方発停用機能 注3	—	室内基板上に遠方発停入力用コネクタを保有	
外部制御出力 注4	—	別売品にて対応	
遠方表示用出力機能	—	室内基板上に運転表示・暖房出力・異常表示用コネクタを保有	

納入仕様書要目表(ASVP4形) 三菱重工設備用パッケージエアコン

記事

- 注1 冷房能力、電気特性および運転音(パワーレベル)は適正冷媒量において日本産業規格(JIS B 8616:2015)条件にて運転した時の値です。
- 注2 工場出荷時のプリーでの定格風量時の機外静圧の値です。(室内機)
- 注3 別売品の遠方発停監視キットが必要です。
- 注4 別売品の統括親制御基板を用いると、遠方発停、外部制御用入力・出力、遠方表示用出力の拡張が可能です。
- 注5 各部品の点検・保全周期については日本冷凍空調工業会発行のガイドラインを参考にしてください。
- 注6 室内機の空気吸込口を後面側に選択した場合は、両側面の新鮮空気取入口を利用することはできません。

使用範囲	PAA002Z302
リモコン	PAA002Z413
配線接続図(ブレーカ選定)	PAA002Z286

	室内機	室外機
外形図	PAA002Z237	PCC000Z271
電気配線図	PAA002Z253	PCC000Z274
送風機特性	PAA002Z254	—
耐重塩害仕様	—	PCC000Z276
騒音特性	PAA002Z306	

運転制御パターン		設定温度	室温制御	室内EEV制御	圧縮機制御
A	吸込温度優先制御	吸込温度	吸込温度	SH/SC一定	圧力一定
B	吹出温度優先制御#1	吹出温度	吹出温度	SH/SC一定	圧縮機吹出温度
C	吹出温度優先制御#2	吹出温度	吸込温度	EEV吹出温度	圧力一定

・いずれの運転パターンでも、保護制御(油戻し制御、均油制御、デフロスト制御など)中は保護制御が優先されるため、設定温度に対して実際の吸込温度または吹出温度が一定にならない場合があります。また、吹出温度制御を選択した場合、冷房時13℃以上の設定温度範囲では圧縮機保護により十分に圧縮機回転数を下げることができず、吹出温度と設定温度の差が大きい状態が続く場合があります。その際はサーモオン・オフを行います。最短30分圧縮機運転→3分間停止を繰り返す運転となり室温も維持できなくなる場合があります。吹出温度制御を選択する場合は外部サーモスタットの併用、複数台設置によるサーモオン台数制御、バイパス風路との切替ダンパー制御などを組み合わせることを強くお勧めします。詳しくは営業窓口にお問い合わせください。

適用機種		セット形式 ASV(S)P1404DCA4			
形 式		ASV			
発行者	名 称	要目表			
山田	図 番	PAA002Z399		訂 符	業 別
24.10.11				B	1/1